

中国における自動車産業政策に関する調査研究報告書

(報告書の概要)

「中国における自動車産業政策に関する調査研究」は株式会社現代文化研究所が財団法人国際経済交流財団の委託を受けまとめたものである。

中国の自動車産業は近年、その発展趨勢は目覚しく、2006年には米国の1,588万台、日本の1,148万台に次ぐ727万台で世界第3位の生産規模にまで拡大している。2010年には約1,000万台の生産に達する一方、市場としては日本を抜いて世界第2位にまで成長することは間違いないとみられている。

しかしながら、中国には完成車メーカーだけでも大小合わせて100社以上が存在し、政府による産業構造の高度化のみならず、国際競争力向上のための政策誘導は必ずしも成功しているとはいえない。政府は自動車産業の強化と健全な発展を達成するために、自動車産業の中長期的基本政策や(「自動車産業発展政策」、2004年)、関連する実施細則も立案、公布している。また、環境、エネルギー問題や、安全といった新たな分野の研究にも着手し、政策による産業の方向性を示そうとしている。中国内外の自動車メーカー、自動車部品メーカー各社にあっては、政策制定の動向を早期に、正しく把握し、その施行に向けての対応を採ることが急務となっている。

本調査研究では、前述の中長期的な産業発展の道筋に関する政策(「自動車産業発展政策」、「自動車貿易政策」、「自動車ブランド販売管理弁法」、「実車特徴を構成する自動車部品の輸入管理弁法」、「自動車産業構造の調整に関する細則」等)をレビューし、現在策定中の関連政策(「自動車産業第11次五ヵ年計画」等)についても進捗状況を調査、研究した。また、今後も公布が相次ぐと予想される関連政策においては、立案の背景やその概要を国家発展改革委員会、商務部等、現地の政策立案関係者にヒアリングを実施して、政策の方向性を検討した。これらを通じ、自動車メーカー、自動車部品メーカー、素形材メーカーの中国進出に伴う政策上の問題点を明らかにし、中国での経営戦略策定に資する研究を実施した。

(報告書の主要構成)

- 第1章 中国の自動車産業政策－総論－
- 第2章 自動車産業の「集約化・構造調整」関連政策
- 第3章 自動車産業の「輸出奨励・輸出促進」関連政策
- 第4章 自動車産業の「自主ブランド・自主開発振興」関連政策
- 第5章 自動車産業の「エネルギー」関連政策
- 第6章 自動車産業の「環境」関連政策
- 第7章 自動車産業の「安全」関連政策
- 第8章 その他の自動車関連政策、自動車産業の概要